

2014年10月7日

野村不動産アーバンネット株式会社

報道関係者各位

「野村の仲介+（プラス）」が「二世帯近居」を提案
 ～『近居』をテーマにした新テレビCMを10月7日（火）より放映～

野村不動産アーバンネット株式会社（本社：東京都新宿区/取締役社長：宮島青史）は、10月7日（火）より、「野村の仲介+（プラス）」の新テレビコマーシャルを放映いたしますので、お知らせいたします。



今回のテレビCMのテーマは、『近居（きんきよ）』。

一人で実家暮らしをする高齢の母を心配し、同居を提案する息子夫婦。迷惑をかけたくないとの思いから、広すぎる自宅を手放してケア付マンションへの入居を希望する母。

相談を受けた「野村の仲介+」担当者が提案した内容は――。



「野村の仲介+」の担当者役には、前回CMに引き続き、仙城 瑛（せんじょう あきら）さん（セントラルジャパン所属）を起用しました。

内閣府の意識調査^{※1}では、「理想の家族の住まい方」として、全体の31.8%が「近居」をあげ、「同居」と回答した割合（20.6%）を上回っています。

また、地方自治体も『親元近居助成』（北区）、『親元近居支援事業（三世代すまいるポイント）』（品川区）などの制度で『近居』を後押ししています。

※1 内閣府『家族と地域における子育てに関する意識調査報告書』（平成26年3月）

＜理想の家族の住まい方＞

祖父母と近居：**31.8%**

祖父母と同居：20.6%

親と子ども世帯で、祖父母と離れて住む：21.7%

夫婦のみ二人暮らし：18.6%

共働き子夫婦への育児支援、高齢の親世代の将来的な介護ニーズなど、お互い助け合いながらも、一定のプライバシーが確保できる『近居』という住まい方、特に「同じ生活圏で暮らすこと」を「二世帯近居」とし、お客様へ提案してまいります。

新テレビCMは、不動産情報サイト「ノムコム」の「二世帯近居」コンテンツ（<http://www.nomu.com/plus/kinky/>）でご覧いただけます。

本件に関するお問い合わせ窓口
 野村不動産アーバンネット株式会社 経営企画室（津賀・兼武）
 TEL 03-3345-7779・FAX 03-3345-8273